

A ねえ。

B うん？

A どうするの？

B 何が？

A だから、夕飯のおかず。

B ああ。

A 言っただけでしょ、何で考えとかないの。

B あー……じゃあ、もうちよつと考える。

A いい。しょうが焼き、カレー、マーボー豆腐、この中から選んで。

B いや……えーとき。

A 何？ この三つじゃいけないの？

B いや……もうちよつとき、考えるっていうか……

A わかった。今日はしょうが焼き。

B、なにか言いかけるが、黙る。

A で、どうする？

B なにが？

A 明日。出かけるって言ったでしょ。

B 出かけるの？

A だから、そう言ったじゃない。

B ああ、あの人と？

A ……あの人って？

B え？ こないだの……ほら、一緒に映画に行っただって……

A はい？ (ものすごい顔でBをにらみつける)

B (Aの事情を察して) ああ……いや、なんでもありません、忘れてください。

A ……で？ どこ行く？

B どこって？

A 決めてって言ったでしょ。

B えっ、私と姉さん(兄)さんで出かけるってこと？

- A そうだよ。あんたが言ったんでしょ。
- B そんなこと言ったっけ？
- A 正確には、あたしが「どっか出かける？」って聞いたなら「うーん」って返事して、「出かけるの嫌なの？」って言ったなら「そうじゃないけど」って。だから「じゃあ出かけるよ」って。
- B それ、僕（私）が「出かける」って言ったことになるわけ？
- A なるでしょ、あんたの場合は。
- B うーん。
- A ふだん引きこもってるんだからさ。ちょっとくらい出かけた方がいいって。
- B 引きこもってないでしょ、ちゃんと買物だつていくじゃん。
- A コンビニでしょ、しかも真夜中。
- B 真夜中以外だつて、出かけることあるでしょ。
- A ツタヤでしょ。引きこもりの典型じゃん。
- B 姉さん（兄）さんだつて似たようなもんじゃない。昼寝て、夜起きて。
- A 締め切り前だけでしょ。いっつもそうみたいに言わないでくれる？
- B でもさ、だったら別にいいじゃない、僕（私）だつて。
- A 駄目だよ。あんた、働いてないでしょ。
- B 手伝ってるでしょ。先月だつて、僕（私）が手伝わなきゃ原稿おとしてたでしょ。
- A あのねえ、いいトシした男（女）がさ、少女漫画家の手伝いでトーン張ったり、ベタ塗ったり。情けないと思わないの？
- B その発言は、世の中の少女漫画家のアシスタントを敵にまわすよ。
- A 彼らはちゃんとそれで稼いでいるんだから、いいの。
- B じゃあ、僕（私）にもお金をくれればいいじゃない。
- A あのねえ、あの人たちは、あんたの十倍は働いてるの。そこまでやる気あるの？
- B うーん。
- A で、どこ行く？ どっか、行きたいところは？
- B あー……考える。

- A シーパラダイス、サンシャイン、エプソンアクアスタジオ
ム、この中でどれがいい？
- B なんでその三つ？
- A 水族館に行きたいの。
- B なんで？
- A 次の作品、水族館の話でさ。
- B なんだ、ようするに取材？
- A なに？ いやなの？
- B そうじゃないけど……。
- A あーもう！ どうしてあんたっていつもそうなの？
- B 何？ いつもって？
- A 考えるってさ、どうせ何にも考えてないでしょ。
- B 考えてるよ。言う前に、姉さん（兄）が決めちゃうんだろ
うが。
- A あー、あたしのせいにする？
- B だって、いつも三つしかないじゃない、選択肢。
- A それ以上あったって、余計悩むだけでしょ。一年たつても
決められないでしょ、どうせ。
- B 僕（私）だって決める時は決めるよ。
- A ……あ、そう。じゃ、決めて。
- B え？
- A だから、無限の選択肢から選んでいいよ。はい、何処へ行
きたいの？
- B ……うーん（考え込む）
- A ほらあ。
- B ……いや、ある。あった、行きたいところ。
- A 何処？
- B かわうその森。